

坂口安吾と坂口家を学ぶ

《坂口安吾のすべてを知る講座》

新潟市秋葉区の阿賀浦コミュニティ協議会では、今年度、阿賀浦地区(大安寺)ゆかりの著名な文豪「坂口安吾」を学び・知り・理解を深める為の講座を開催致します。

講師には、地元新津出身の若月忠信先生をお招きし、10回にわたり講義を頂きます。また、安吾に豊富な知識をお持ちの特別講師も参加頂く予定です。奮ってご参加頂きたいと思っております。

講座概要

場所：秋葉区新津東町 2-5-6 新津地域学園 2F 201 研修室 (階段教室)

日時：原則 第四土曜日 13:30~15:00

6/
(土)25

坂口安吾入門

秋葉区の安吾文学碑2基と壇一雄句碑などに親しむ。

7/
(土)23

坂口安吾の祖先

大安寺の坂口家の墓所と埼玉県入間郡高麗村「高麗神社の祭の笛」を読む。

8/
(土)27

坂口安吾の小中学校時代

「風博士」を読む。

9/
(土)24

松之山町の安吾碑と「黒谷村」を読む

松之山が舞台の作品。安吾は姉セキが嫁いだ松之山の村山家に度々訪れる。

10/
(土)29

坂口安吾の代用教員時代「風と光と二十の私と」

安吾 20 歳の頃に世田谷の下北沢(当時の荏原郡)での小学校代用教員。

11/
(土)26

坂口安吾の初恋

矢田津世子の東京の「一之坂」と長野「奈良原鉱泉富士見館」(現 あさま苑)

12/
(土)24

坂口安吾の京都時代

車折神社、嵐山劇場、伏見稻荷。

1/
(土)28

伊東の競輪場事件と壇一雄のカレーライス事件

東條英機の娘由布子さんとのつながり。

2/
(土)25

坂口安吾終焉の地

浅草染太郎と桐生市 書上邸(旧両毛地域最大の織物買継商)と文学碑2基

3/
(土)18

護国神社境内の寄居浜の坂口安吾碑

「ふるさとは語ることなし」への考察

講師 若月 忠信 (文芸評論家) 講師略歴は次ページを参照ください。

【募集定員】 先着40名 【参加費】 無料

【申込&締め切り】 かんたん申込 または メール・FAX・はがき のいずれかにて

6月10日までに、下記の内容を事務局までお知らせください。参加決定後にご案内します。

①参加者氏名・ふりがな ②郵便番号 ③住所 ④電話番号 ⑤年代

【申込先】

かんたん申込は下記より

阿賀浦コミュニティ協議会 事務局

<https://agauracomikyowixsite.com/mysite/contact-6>

〒956-0816

秋葉区新津東町 2 丁目 5-6 新津地域学園内

FAX:0250(25)7655

電子メール: agauracomikyowixsite@coral.plala.or.jp



※取得した個人情報は必要な範囲内でのみ取り扱うものと致します。

※新型コロナウイルス感染症拡大や状況によっては開催の変更場合があります。



あちらこちら命がけ

この碑文は、安吾直筆の色紙からとったもので、安吾の文学精神や生き方を端的に表しています。

この文学碑は新津駅近くに建立されています。



頭上に花がありました。その下にひっそりと無限の虚空が満ちていました。ひそひそと花が降ります。それだけのことです。

この碑文は、小説「桜の森の満開の下」の一節を、安吾の孫の晴子さんによって書かれたものが彫られています。この文学碑は図書館裏に建立されています。



檀一雄の句碑

亡き友の泳ぎし跡か川広し

この句碑は作家檀一雄氏が安吾の墓参りの時に詠んだ句です。

阿賀野川堤防広場(大安寺集落開発センター隣地)に句碑があります。



新津は、安吾の父祖の地です。

安吾の本籍地は、中蒲原郡阿賀浦村大安寺(旧新津市)で、安吾が眠っている坂口家の墓も大安寺に在ります。

父 仁一郎が新津から新潟へ移った後、安吾は新潟で生まれたので、新津のことはよくわからないと思いますが、安吾の虚無的思想には父祖の地新津の風土があらわれています。

毎年、安吾の命日にあたる2月17日には安吾の会のメンバーが中心となって墓前で「安吾忌」が行われており、市内外から熱心な安吾ファンが新津を訪れ、安吾を偲んでいます。

講師略歴

若月 忠信 (文芸評論家)

1937年生まれ。新潟大学人文学部人文学科卒業(国文学専攻)

県立新潟、新潟東など公立高校教諭を経て、1984年から1993年まで

新潟大学非常勤講師(日本文学作品論ほか)、1998年から敬和学園大学特任教授を務めた。

坂口安吾の世界をはじめ「文学と風土」にこだわる旅を続ける。

主な著書に「資料坂口安吾」「文学の原風景」「坂口安吾の旅」ほか。

新潟県出版文化賞選考委員「にいがた市民文学」選考委員。

FMにいつ(76.1MHz)で毎週水曜日13:00から「若月文学館」を担当。



この事業は新潟市地域活動補助金を活用しています。